

## 講演会

日時：2020年11月7日(土) 13:55～15:00

講演者：北條 勝貴 上智大学文学部史学科教授

演題：歴史のなかに、かき消された声を聞く

—上智大学から実践するパブリック・ヒストリ—

## 講演者経歴



1993年3月	上智大学 学士
1995年3月	上智大学 修士(史学)
2007年4月	上智大学文学部専任講師
2011年4月	上智大学文学部准教授
2019年4月	上智大学文学部教授 (現在に至る)
2020年4月	上智学院ソフィア・アーカイブス館長 注) (現在に至る)

研究分野	歴史学: 東アジア環境文化史
研究テーマ	自然環境と人間との関係の歴史を、古代から現代に至る長いスパンのなかで、東部ユーラシアの諸領域を対象に明らかにしている。文学、宗教学、民俗学、文化人類学などとの協働作業も多く、少数民族等のフィールド調査も行う。築地市場解体の反対など、社会運動にも関わっている。現在研究中のテーマは、中国南北朝～隋唐期における道教・仏教・医学と民俗知・自然環境との関係、近世～近代の北方地域・日本列島における毛皮獣養殖の実態の解明など

<sup>1</sup>注) ソフィア・アーカイブス

上智大学史資料室を改組し、2020年4月に設置。

「イエズス会並びにカトリック教育の浸透」に関して、「アーカイブの充実に向けた組織の整備」並びに「学院、および各学校単位でのアーカイブ資料の充実、研究の推進」を実現することを目的として、本学院の発展に寄与する組織を目指している。史資料の収集・保管にも力を入れ、デジタル化、教育・研究への利活用、企画展示などにも積極的に取り組んでいく。